



ロータリー:  
変化をもたらす

# 相模原大野ロータリークラブ

◆会 長: 笠井 透 ◆幹 事: 角尾 彰央 ◆会長エレクト: 座間 勇  
 ◆S A A: 布野 一喬 ◆会報委員: 宮崎雄一郎 ◆URL: <http://www.s-oono-rc.jp>  
 ◆事 務 局: 〒252-0238 相模原市中央区星が丘 3-5-16 ◆TEL/FAX: 042(755)0901  
 ◆例 会 場: 相模原ゴルフクラブ 〒252-0331 相模原市南区大野台 4-30-1  
 ◆例 会 日: 毎週水曜日 12:30~13:30 ◆E-mail: [oono-rc@mx1.alpha-web.ne.jp](mailto:oono-rc@mx1.alpha-web.ne.jp)

平成 30 年 4 月 18 日 第 1173 回例会

## 会長の時間: 笠井透



皆様にも既に連絡が行っていると思いますが、我がクラブの特別代表である、川井彦策様(享年 93 歳)が 4 月 13 日にご逝去されました。来月の創立 25 周年記念式典で、当クラブ名誉会員としてお迎えする予定でした。25 年前は川井さんも若く、当時会長の荻原さんもパワー全開で、相模原西 RC も勢いがありました。“拡大”するという事は、クラブ自体に力と熱が無ければできません。宮下さん、関根さん、広石さん達が集まり、西 RC 一丸となって物凄いパワーで 26 名を集め、我がクラブが誕生した訳です。お世話になった川井さんの訃報を知り、悲しい気持ちになりました。

一方で、嬉しい事もあります。今日は、宮崎会員推薦の森崇彦さんが例会に出席して下さいました。2 年振りの新会員です。来週、入会式を行いますので皆さん宜しくお願いします。本日は、かながわ湘南 RC の高木さんと柚木さんがお越し下さいました。2004 年創立の若いクラブですが、夫々ロータリーに精通された方々の集まりですから、何も知らずに入会した我々とはレベルが違います。今日は国際奉仕活動についてお話頂けるそうなので、後程宜しくお願い致します。

## 幹事報告: 角尾彰央

- ・姉妹・友好 RC 調査アンケート依頼 回答: 4/末
- ・ネパールこども病院 20 周年記念誌へのメッセージ  
寄稿される方は 4/20 迄に(100 字程度)地区へ  
詳細説明/ガバナー事務所・柚木裕子様より
- ・相模原 RC より I・M のお礼

**例会変更** ※ビジター受付=クラブ事務局 ※受付無

4/20 (金) 相模原グリーン※

4/23 (月) 相模原東※

4/27 (金) 津久井 大和田園

5/1 (火) 相模原南※ 相模原中※ 大和

**週報受領** 相模原南 相模原グリーン 相模原柴胡

**その他来信** ハイライトよねやま 217 号

## ビジター&ゲスト

本日はようこそ!

高木直之 様 (かながわ湘南 RC)  
 柚木裕子 様 (かながわ湘南 RC)  
 森 崇彦 様 (グリーンフォレスト代表取締役)



≪自己紹介/森崇彦様≫介護保険を使ったリハビリ型のデイサービスを経営し 5 年目に入りました。分らない事ばかりですが、頑張って行きたいと思えます。宜しくお願いします。

## 委員会報告 座間勇 会員

3/24 (土) の午前中、I・M が始まる前に「ふるさとコンサート」に行ってきました。お礼に伺えないので、と加藤大聖さんからお礼状を預かりました。次年度は地区補助金を貰って、小学生の吹奏楽と合同で第 10 回「ふるさとコンサート」をグリーンホールで行う計画です。皆さんのお力添えを宜しくお願いします。

## 卓話: ミャンマー視察報告

DIFFERENCE

高木直之 様 (東京海洋大学教授)



本日は、私共のクラブが 5 周年記念事業として始めた「ミャンマー・マイククレジット」の歴史について、お話をさせて頂きます。始めた切っ掛けは、

AMDA (Association of Medical Doctors of Asia=医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開) の元職員の鈴木俊介氏(財団学友)が立ち上げた AMDA 社会開発機構です。海外の貧しい国の地域社会の発展に重点を置いた NGO で、彼が理事長を務めています。国際奉仕は難しいと言いますが、彼の様な人物を知っていると難しい事はありません。資金を集めて時々現地を見に行けば良いのです。2010 年 5 月寄付で集めた 25 万円からコスト 10%を差し引いた 22 万 5 千円を原資に、アイ村で始まりました。中部乾燥地帯で低収入世帯の女性に対する無担保の小口融資に健康保険と貯蓄を加え、職業・農業指導と保健教育(特に母子)を提供するプロジェクトです。5 人 1 組でグループを形成し、互いに責任を持ちながら返済をします。

各グループにリーダーがいて、リーダーの中から村全体のリーダーが選ばれます。初年度の貸出は1人4万チャット(4千円)、利子は年20%で更に25%を強制的に貯蓄させ、5%は健康保険として積み立てます。医療保険や貯蓄という概念が無かった村の生活を変える、教育的意味を持った措置です。AMDAのスタッフが村々を回り、同時に保健指導や職業・農業指導も行います。2012年2月には、西山村でもスタートし、32万円を資金に63世帯が参加しました。日本での25万円は1世帯1ヶ月の生活費にも足りませんが、現地では46世帯を賄えます。農業・畜産・漁業・小売等に投資しました。スタート時の資金は、2村で合計約590万チャットでしたが、今では利子が付き合計1280万チャットで、約700万チャット増えた計算になります。2011年に行った時は、車はボロボロで神奈中バスがそのまま走り、携帯も高価で電気も殆ど無いという状態でした。2014年には携帯や中国製の安いバイクが普及し、人々の足が牛車からバイクに変わっていました。今年1月の視察では、車は新しくなり都市部の近くでは電気が来ていました。経済発展の影響で、現在支援を始めるには、40人支援するには約80万円の資金が必要になります。月2回AMDA職員が取り立てに来て、各種指導も行いながら利子は15%、返済額は月9200チャット、貯蓄として400チャット預かりますが最後に利子15%付で受益者に戻ります。信用を増して次は更に高額の借入が可能になります。5人組でカバーし合うので貸し倒れは殆どありません。この仕組みに目を付け、金融商品にした人もいるようですが、無理な貸し付けをしてトラブルになる事もあります。AMDAはそのような事はありませんし、保健指導では寸劇で分かり易く伝えたり、医療関係のポスターを掲示する等もしています。国際奉仕は“入って出して見に行けば”良いのです。

事業では多くの場合、先ず鶏を飼う事から始まります。お金が増えれば数が増え、鶏から豚へ、豚から水牛へと行くのが畜産のケースです。農業ではマンゴーを植えたり、モヤシの生産も規模が大きくなっています。暮らしが良くなっているのを実感できます。湖がある地域では漁業(刺網漁)もします。電気が通

が始まっていました。資本は相当掛かっていると思います。ここで紹介する家族は、2002年AMDAが最初に始めた時に1000円で豚1匹から始め、水牛7頭になり、電気が通ったのを機に全てを売却し、機械を購入したそうです。究極の“わらしべ長者”になっていました。他にもミシンを使って縫製の仕事をしたり、一家で家内工業を始めた家族もいます。

国際奉仕の“四つのテスト”を考えました。1.命を救えるか 2.暮らしを助けるか 3.知をもたらすか 4.希望をもたらすか この4つの何れかに関わる事なら、国際奉仕として良いのではないかと私は考えます。現在AMDAがミャンマーで展開しているマイクロクレジットのプロジェクトによって、妊婦と新生児の命を救い、保健や栄養に関する知識は村人の健康増進に繋がり、景気の向上で大学に進学する子どもも出てきています。AMDA社会開発機構のモットーは、「今日の暮らしと明日への希望」です。これが無い所が、ミャンマーには未だ沢山あり、恩恵を受けていない村に更に広げるために、原資を募りたいという事です。ご紹介した写真からも、人々の表情が希望に満ちているのが伺えます。彼らには貧しいけれど希望があります。

### スマイル報告 今年度累計 ¥268,000

高木直之 様 今日、座間副会長にお願いに上がりました。

柚木裕子 様 初めてお邪魔します。高木さんと一緒に、今日は座間さんをお願いがあり伺いました。例会楽しませて頂きます。

座間勇 会員 高木先生、柚木さん、ようこそ。例会楽しんで行って下さい。

大野治雄 会員 今日も雨で、少し寒いですね。

角尾彰央 会員 かながわ湘南RCの高木さん、柚木さん、ようこそいらっしゃいました。本日は卓話楽しみにしております。本当は英会話教室が良かった(?)のですが宜しくお祈いします。森さん、これからはメンバーとして宜しくお祈いします。

### 今後の予定

5/2(水) クラブ協議会《創立25周年について》

5/9(水) → 5/12(土) 創立25周年記念式典

5/16(水) クラブ協議会《創立25周年について》

5/23(水) → 5/19(土) 【献血の啓蒙活動】

### 出席報告

た地域では、機械を購入して機織り

会員数	免除者	出席者	欠席者	他 RC メイク	その他 R 活動	本日の出席率	修正出席率
13名	1名	11名	1名	2名	9名	91.67 %	4/4 100 %